

# よりそう

Side by Side



浜辺で河童が吠いた

天の怒りに触れたのか

自然の怒りに触れたのか

行方知れずの海河童

浜辺で呼べども声聞けず

岩場で叫べど波音に消え

昔遊んだ白砂に残る足跡道しるべ

訪ねた番屋の灯

負けて成るか海河童

網をつくり出船の準備

天を仰いで海河童

明日は静かに迎えておくれ

腹を空かした人間達に

少し幸せ分け合って

生きる力を分かち合い

天に願う静かな暮らし

天に向かって海河童

艱難辛苦笑い飛ばして尻の河童

天に向かってワッハハ

天に向かってワッハハ

楽人

この詩を作られた楽人さんは大船渡在住の65歳、ご自宅と「第二の人生の楽園」として手作りして3年かけて昨年11月に完成したばかりのカフェとギャラリー、陶芸の焼窯を津波で失い、今は大船渡の仮設住宅に暮らしていらっやいます。9月に再開したブログには当時の心情がこのように綴られています。

“3月の悪夢、音もなく盛り上がる海、、只、、自然の成すが終に声も出ずに呆然と其の様を見ていた。津波が持ち去った我が家、、思い出の写真一枚残らず、、(略)暫く県外避難を栃木県の奥鬼怒川、、女夫温泉ホテルに、社長夫婦の計らいで、臨時社員として働きました。深流の川音、海拔1000メートルの世界、静かに移りゆく日々暮らし、心身共に癒されて精神が安定して気になることは大船渡の便り、他県で心配するよりも大船渡に帰って何か始めようと思ひ8月末に復帰、、現在は仮設住宅暮らし、暗い震災の事は此れまで、”

私がお会いた時の楽人さんはちょうどこのブログを再開した頃で、鬼怒川温泉にいたときに書き始めたという詩をいくつか見せてくださいました。河童のつぶやきにこめた楽人さんの言葉は深やかなしみの中にありながらそれでも上を向いて進んでいこうとする、静かでありながら力強い決意に満ちています。

最近の楽人さんは、大船渡の飲食店組合の方とともに、大船渡駅の近くに屋台村をオープンすることになり、日々その準備に奔走されていらっやいます。オープン予定は12月とのこと、既にパソコンで作ったメニューも完成、その表紙には紙粘土で作った河童が5匹、上を向いて並んでいます。「焼き物の窯が壊れちゃったから紙粘土で作ったよ」とのお話でしたが、ユーモラスな表情でそれぞれ上を向く河童たちはいきいきとしてとても嬉しそうに見えます。楽人さんのこと、そして屋台村の情報については引き続きお知らせしたいと思います。みなさん、オープンしたら是非、楽人さんのつくってお好み焼きを食べにいらしてください。



楽人さん制作の「笑い河童」は、10/5に大船渡で撮影されたもので、ブログにアップしています。

◇楽人さんのブログ「河童の呟き」が東郷野で読めます  
<http://blogs.yahoo.co.jp/uminohito00/MYBLOG/blog.html>

◇大船渡屋台村 HP  
<http://www.5502710.com/>

まごころの郷づくりレポート Vol.6 寄稿:宮本班長

10月10日「ついに土台完成」今日は三連休最終日とともに月曜日、大槌・釜石両地区が定休日ということで、私含め総勢23名でまごころの郷作りを行いました。

本日は照井棟梁も来られて作業第一段は協働地予定地のススキの株起こし。皆汗みずくではほぼ終わりました。ウッドデッキ作りは照井棟梁の指示のもと、ミリ単位の調整を行い、ついに土台完成!!今まで地面下の作業でしたがいよいよ地上の作業に移れるようになりました。やったぜ。

そして近隣三箇所の仮設住宅へのまごころの郷紹介のチラシ入れ。ようやく被災者の方々の交流の場を作っていることをお知らせできました。今日の作業に参加してくれた方々、ありがとうございました。



土台ができました!  
 まごころの郷(仮)は  
 10月16日の開所式  
 予定に向けて準備中!!  
 がんばり!!

今日のミーティングより  
 10/14 (金)のミーティングは PM5:00 @体育館です。

10/14 (金)のミーティングは PM5:00 @体育館です。